

令和6年度第1回 静岡市がん対策推進協議会会議録

- 1 日 時 令和6年8月28日（水） 19時15分～20時30分
- 2 場 所 静岡庁舎 本館3階 第一委員会室及びオンライン併用
- 3 出席者 （委員） 若林会長、前田副会長、池田委員、是永委員、佐々木委員、田中委員、長倉委員、星野委員、松本委員、室井委員、吉川委員
（陪席者） 静岡市静岡歯科医師会若尾様、静岡市薬剤師会前坂様
（事務局） 千須和保健福祉長寿局保健衛生医療統括監、萩原局次長兼健康福祉部長、内館健康長寿推進監兼地域包括ケア・誰もが活躍推進本部長兼局理事、田中局理事兼保健所長、杉山保健衛生医療部長、酒井参与兼地域包括ケア・誰もが活躍推進本部次長、山下健康福祉部参与、北原地域包括ケア・誰もが活躍推進本部副主幹、川口健康づくり推進課長、小畑参事兼口腔保健支援センター所長、佐藤課長補佐兼係長、竹田課長補佐兼係長、降矢保健衛生医療課長、白石係長、渡邊主任薬剤師、窪田保健所感染症対策課長、小長井主幹、中野保健所生活衛生課参事兼課長補佐、野中主任看護師、平尾商業労政課長、内山児童生徒支援課長、渡邊指導主事
- 4 傍聴者 0人
- 5 次 第
 - （1）開会
 - （2）挨拶
 - （3）新任委員の紹介
 - （4）議題
 - ア 協議事項
がん対策に関する施策の令和5年度の実施状況について
 - イ 報告事項
令和6年度の新規取組について
 - （ア）HPVワクチンの学校における情報提供について
 - （イ）がん検診精度管理協議会について
 - （ウ）市民（大人）へのがん教育について
 - （5）その他
 - （6）閉会

6 会議内容

(1) 開会

(事務局) 会議の成立を報告(15名の委員のうち、11名出席)

(2) 挨拶

(保健衛生医療統括監) 挨拶

(3) 新任委員の紹介

(事務局) 新任委員2名を紹介

(4) 議題

ア 協議事項

がん対策に関する施策の令和5年度の実施状況について

(若林会長) 議長を務めます静岡県立大学の若林です。よろしくお願いします。
急遽オンラインの形式になりましたが、よろしくお願いいたします。
本日の議題は2つあります。まずは、協議事項のがん対策に関する施策の令和5年度の実施状況について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料1-1、資料1-2に基づき説明

(若林会長) ありがとうございました。

事務局から、がん対策の施策の実施状況報告書について説明をいただきましたが、この内容について委員の方々から御意見や御質問等がありましたらお願いできますでしょうか。

私からよろしいですか。

がん検診受診率と精密検査受診率が、向上はしているもののまだ目標に達成していなく、Bの判定のものが多いです。がん検診受診率と精密検査の受診率を見ますと、子宮頸がんと乳がんに関しては両方ともBの判定になっていますので、これらについて更に推進をするとかなりいい成績になると感じます。

これらについて様々な取組をしていることはよくよくわかりますが、事務局で、さらに推進をするような特段の方策などがありましたらお願いできますか。

(竹田課長補佐兼係長) 健康づくり推進課健診係の竹田と申します。がん検診は、対象者がキーポイントです。まず、静岡市の国民健康保険の加入者が第一グループです。第二グループは、主に75歳以上の後期高齢者医療制度の方々で、もう一つのグループは、それ以外の社会保険加入者のうち、加入する社会保険の制度の中でがん検診を受けることができない市民の方です。本市で分かり得る情報は、最初の2つのグループの国民健康

保険と後期高齢の方々についてです。一方で、その他の社会保険に加入されている方々の日頃の受診状況などは、本市で一切わかっていません。その方々に、どのように本市のがん検診をPRしていけばいいのかということに正直苦慮しているところです。毎年、がん検診の受診勧奨の御案内やお知らせを健康づくり推進課の業務として行っているところです。今年度発送する受診勧奨の方策の例として、乳がん検診は40歳になる年から2年に1度受診可能であるため、40歳、または42歳の最初に受けられる方々を対象に、一律にお知らせをしようと準備しています。

また、同様に、男性については、胃がん検診は50歳になる年齢から2年に1回受けられるため、50歳になる方々を対象に今年から受けられるようになりますというお知らせをお送りする予定で準備をしているところです。可能な範囲内で受診のお知らせはしていますが、情報を持ち得ていないところもありますので、そこは工夫をしながらお知らせしていきたいと考えています。

(若林会長) ありがとうございます。

精密検査の受診率に関しては、この方々は一度検診を受けて、陽性判定の連絡が家に届いた後、なかなか精密検査の方に行ってくれていないという現状があると思いますが、この点について更にそれを推進するような方策は、どのように考えていらっしゃるでしょうか。

(竹田課長補佐兼係長) はい。一定期間経過しても精密検査の結果が出てこない場合には、まず、本市から一次検診を実施した医療機関に対して、その後患者さんの様子はいかがでしょうということのお知らせを年に2回送るという働きかけを行っています。その後、健康づくり推進課から対象の御本人あてに精密検査が必要ですという判定が出ていますが、その後いかがでしょうということのお知らせを送っています。この取組が少しずつではありますが、精密検査を受ける方の増加に繋がっていると判断しています。

(若林会長) ありがとうございます。委員の方々からこれらについて御質問や御意見がありましたらお願いできますか。

(長倉委員) 市民委員の長倉です。

過去自分で思ったことと、周りの人の意見を聞きまして、一つ提案です。女性の乳がん、子宮頸がんの検診などは、医師も全員女性で、見てくださる看護師さんも女性だけで実施する検査の日っていうのがあり、利用したことがあります。それを周りに伝えますと、いいねという言葉が返ってきます。なかなか難しいかもしれませんが、その機会が増えると、正直女性としては検診を受けやすいというのがあります。このサンデーレディース検診を日曜日にやってくださるのも大変いいことだと思いますが、そういった機会もあるといいと思っています。

(若林会長) 貴重な意見をありがとうございます。

(竹田課長補佐兼係長) 御意見ありがとうございます。この前の日曜日にサンデーレディース健診1回目を開催しました。対応する健診機関の職員の方々もすべて女性で実施しました。年3回に加えて静岡医師会と清水医師会とそれぞれ1回程度企画していただいています。日程が決まり次第、広報紙や健康づくり推進課のウェブサイトでお知らせしています。ただ、年数回に留まっていますので、健診機関側の御協力をいただきながら、引き続き開催していきたいと考えています。

(若林会長) その他に何か、委員の方々から御意見や御質問ございますか。

(星野委員) 先ほど長倉委員がおっしゃっていたように、乳がん検診は、検診車の場合はすべて女性の方で担当していると思いますが、女性の先生を揃えて検診を実施するというのは難しいと思います。

それから、精密検査のことですが、患者サイドでもこの話が出ました。はがきが来ても、なぜ行かないのかと聞きましたら、結果が出るのが怖いから行きそびれていると聞きました。私の方に相談のお電話をいただくと、再検査でがんと診断されるとは限らないため、必ず受診するようにと言います。怖い結果が出ると困るという方には、患者会では、なるべく速やかに精密検査を受けるようにお知らせしています。

また、肺がんについて、喫煙については、電子たばこも一緒になっているのですよね。夏休みで様々なところでイベントがあり、私も静岡市の街に出ましたが、喫煙所が歩行者の近くにありました。イベントの主催者に喫煙所の設置について考えて欲しいですし、静岡市から指導をしていただけたら嬉しいと思いました。

(若林会長) ありがとうございます。その他、何かございますか。

特に御意見がないようですので、この実施状況報告書については、委員の方々から出た意見等について事務局の方で少し内容を加えさせていただいて、最終的には私と事務局の間でやりとりをして、取りまとめていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。御異論はありませんか。

(異論なし)

(若林会長) 御異論がないようですので、そのようにさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

イ 報告事項

令和6年度の新規取組について

- (ア) HPV ワクチンの学校における情報提供について
- (イ) がん検診精度管理協議会について
- (ウ) 市民(大人) へのがん教育について

(若林会長) 次の議題は、令和6年度の新規取組についてです。事務局から説明

をお願いします。

(事務局) 令和5年度の第1期 静岡市がん対策推進計画の中間評価・中間見直しで盛り込んだ取組についての報告である旨を説明

(窪田保健所感染症対策課長) 資料2-1～資料2-4に基づき説明

(竹田課長補佐兼係長) 資料3に基づき説明

(事務局) 資料4に基づき説明及び動画を放映

(若林会長) ありがとうございました。令和6年度の新規取組について、HPVワクチンの学校における情報提供について、がん検診の精度管理協議会について、市民へのがん教育についての前田先生出演の動画の御紹介をいただきました。これらについて委員の方々から御意見、御質問等がありましたらお願いできますでしょうか。

(松本委員) 県の看護協会の松本でございます。御説明ありがとうございました。質問とか意見ではないのですが、看護協会として、職能団体として協力できることがないかということを考えていただきました。1つにはHPVワクチンの件ですが、看護協会は毎日、看護職に対する何らかの研修を行っています。1回の研修で50人から100人くらい集まるため、もし資料をいただければその研修生に配布することができます。その研修生として、小学生や中学生の子をお持ちのお父さんお母さんが参加している場合もございます。静岡市に在住の方ばかりではないですが、そういった協力ができると思って聞かせていただきました。

(若林会長) ありがとうございました。今の資料の配布についての御質問に対していかがですか。

(窪田保健所感染症対策課長) ありがとうございます。ぜひ、様々なところでこのHPVワクチンの接種の重要性、大切さを伝えていきたいと考えていますので、資料を御提供し、皆さんに周知していただけると大変ありがたいと思っています。詳細については、改めて御連絡をさせていただき、御厚意に甘えるところがありますが、よろしくお願ひしたいと考えています。

(若林会長) その他に何かございますか。

私からよろしいでしょうか。2つありまして1つは、前田先生の講演は非常に簡潔にまとまっていて、スライドも非常に見やすいです。これは、静岡市と静岡病院だけで放映されているのでしょうか。それとも、ホームページやSNS上で見られるようになっているのでしょうか。

(白石係長) 御質問ありがとうございます。こちらは、市のホームページ上でも公開していますし、静岡病院のホームページにもリンクを貼っていただいております、周知に御協力をいただいております。

YouTubeで公開されていますので、どこにいらっしゃっても、御自宅からでも見られる状況になっています。先ほど御紹介したように、市の

食堂やケーブルテレビなどでも放映していますので、YouTube の視聴再生回数以上に多くの方に御覧いただいたのではないかと考えています。

(若林会長) ありがとうございます。それから、HPV のことについて校長会で御説明したということですが、この新聞記事では、校長会から生徒さんに説明をするということが書いてあります。生徒さんと共に、親御さんにもその情報が届くことが非常に重要だと思います。様々な講演会に行くと、お母さんが非常に心配をしているという声が非常に強くて、HPV ワクチンを受けたいが、副反応が大変心配だということで、おそらく娘さんや学生さんの方に、控えた方がいいというような意見も出ているのが現実だと思います。ぜひ生徒さんとともに親御さんに、特にお母さんに伝えるために、学校から、例えば PTA を通じて行うなどをしていただければ大変効果的になるのではないかと考えてこの記事を見ていました。いかがですか。

(窪田保健所感染症対策課長) ありがとうございます。今、会長がおっしゃったように接種対象者は、まだ小学校 6 年生から高校 1 年生相当ということで、自分で打っていいのか悪いのかを判断できる年齢に至っていないということもございます。そうすると、どうしても保護者の方の御意見が強く出るというのが実情だと思います。この御案内は、学校現場から主にデジタル配信で、データを皆さんに提供しているということで、接種対象者だけでなく、保護者の方も当然ご覧にはなっていると思います。これからは、より理解を深めていただくために、様々な形で、保護者も含めて周知していきたいと考えています。

(若林会長) お願いします。その他に委員の方々から御質問、コメントございますか。前田先生、講演をされて反応はいかがでしょう。

(前田副会長) 皆様で動画を御覧いただいて大変恐縮しています。前回の会議の時にも少しお話をしましたが、今、中学生に対してはがん教育を行っています。その親御さん達は、そのお子さん達からその話を聞くことがあるかもしれませんが、その間の世代や大人の方が、こういう知識を得る機会がないです。今回、市から御提案をいただいてこういう動画を作成するということになりました。様々なところでこれを御覧いただいて、がん予防に気をつけていただけるようになり、静岡市のがん罹患率自体が下がることに繋がればいいと思っています。それから先ほどから HPV ワクチンのことが出ています。実は、このがん教育の中でも、HPV ワクチンのことをどうしたらいいかということがありました。少なくとも昨年度ぐらいまでは、教育委員会から方針がしっかり決まっていなかったのであまり触れないでくださいと言われていました。ただ、先ほどからのお話のように、一歩進んできたように感じるため、今後のがん教育では紹介ができると考えています。

(若林会長) ありがとうございます。HPV ウイルスのワクチンの接種について、

医師会の先生方、室井先生や吉川先生何か御意見や感想等がありましたらお願いできますか。

(吉川先生) 今までは、私ら診療所で勤務している医師は、この HPV ワクチンを勧めていいものかどうなのか不安な面があって及び腰でした。しかし、最近婦人科の先生を中心に、HPV ワクチン接種を進めなければいけないという力強い発言を聞く機会が何回かあったため、これは医師会総ぐるみで積極的に取り組んでいこうというように、風向きが変わってきたと思います。ぜひ積極的に協力したいと思いますのでよろしくお願いします。

(若林会長) ありがとうございます。よろしくお願いします。

(是永委員) HPV ウイルスのワクチンについて、今は女の子主体になっていると思いますが、男の子へも助成をしている自治体があるとのニュースがあるため、男の子についても触れていっていただけるといいと思っています。

(若林会長) ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。

特になければ、この報告事項「令和6年度の新規取り組みについて」は、このような格好で進めさせていただければと思います。よろしくお願いします。その他に特に何か御意見ですとか、コメント等はございますでしょうか。

ないようですので、本日の協議事項および報告事項については以上とさせていただきます。御協力をいただきありがとうございました。

(5) その他

(事務局) 参考資料3に基づき説明

(6) 閉会